

読んで考える

公立中高一貫校 合格力講座

資料問題編 ④

日常生活の買い物をより便利に楽しくするには



執筆・早稲田進学会(大島茂) イラスト・大野直人(エヌノート)

挑戦! 長野県立中 2020年度 適性検査Iから抜粋 (一部改変)

勝さんは、はなれて暮らすおばあさんから「車を運転しなくなってから買い物に行くのが大変だ」という話を聞きました。問題1～問題2に答えなさい。

問題1 勝さんが長野県の商店街の数について調べると、資料1のように減ってきていることがわかりました。さらに、資料2、資料3を見つけ、考えたことをまとめました。考えたことの「ア」～「キ」に当てはまるふさわしい言葉や数を、資料2、資料3をもとに書きなさい。

資料1 長野県の商店街数の変化

年	商店街数
1981	454
1999	345
2017	217

資料3 商店街が直面している主な課題

課題	回答数 (%)
商店街周辺の人口の減少	35.0
大型店へ行く客の増加	33.2
魅力的な店がない	25.8
後継者の不足	25.8
店の数が少ない	25.3
小さい店が多い	18.9
駐車場の不足	16.6
店が古くなっている	14.3
リーダーの不在・力不足	10.1
消費者ニーズへの対応が不十分	10.1
店の種類が少ない	9.2

(資料1～資料3は、長野県産業労働部「平成30年度長野県商圏調査」および「平成29年度長野県商店街実態調査」より作成)

考えたこと

- 近年、消費者は、主に「ア」と「イ」で買い物をしている。これは商店街が抱えている「ウ」という課題と一致する。
- 「ア」には、広い「エ」があるので、自動車で行きやすい。資料3を見ると、「エ」の問題を課題としてあげている商店街は「オ」%ある。

資料2を見る限り、商店街に多く見られる「カ」で主に買い物をする人の割合は、2003年まで大きく減少しているが、その後は「キ」割程度で落ち着いている。

問題2 勝さんは、買い物の大変さを感じている人のために、どんな取り組みができるか調べ、取り組みの視点、長野県の具体的な事例とそれに対する利用者の感想を見つけました。

取り組みの視点

- a 住んでいる地域に食料品や日用雑貨を販売する店を作る取り組み
- b 買い物ができる場所(店や商店街等)に送り迎えする取り組み
- c 注文を受けた商品を自宅まで届ける取り組み
- d 移動型の店で買い物に困っている地域を回って販売する取り組み

(平成27年度 農林水産省「食料品アクセス改善対策事業実施報告書」より作成)

具体的な事例

- ア ある女性は、おそうざいを自動車内で調理して販売している。自動車で向かったのは、A村の集落だった。公民館の前に駐車し、準備を始めた。販売されたのは、こんがりあげたコロケだった。
- イ B市の高校3年生は、地域の施設に地元の農産物を中心に販売するスーパーを開店した。買い物に困っている高齢者が多くいることや実際にお店での買い物を楽しみたいという声が多かったことなどから、開店を決めた。
- ウ みんなで食事や買い物などをして心身をリフレッシュすることを目的としたお年寄りの「お出かけツアー」が広がりを見せている。C地区では地域のスーパーが閉店したことを受けて自治体がバスのツアーを企画した。
- エ D町の「道の駅」では魚や野菜といった食料品のほか、洗剤などの日用雑貨もあつかい、電話一本で希望の商品を自宅まで届けてくれる買い物代行サービスをしている。多い日で50人の住民が利用している。

利用者の感想

- あ 若い人がどんどん地域をはなれていってしまう中、地域の若い人が地域のことを考え活動してくれるのがとてもうれしい。若い人と話す元気が出る。
- い 高齢なので、この地域から外へ出ていくのは大変。作りたてが買えるし、お店の人と話をしながら買い物できるのがいい。
- う 新鮮食品を家まで届けてくれるので、とても助かる。「困っていることはないか」と気づかってくれるのがうれしい。
- え 買い物ができるのはもちろん、年の近い皆さんとおしゃべりしたり、一緒に出かけたりするのが楽しい。

(具体的な事例・利用者の感想は、「FNN.jpプライムオンライン」などから作成)

- ① 取り組みの視点a～dに当てはまる具体的な事例を、ア～エから1つずつ選び、記号を書きなさい。また、選んだ具体的な事例に当てはまる利用者の感想を、あ～えから1つずつ選び、記号を書きなさい。
- ② 利用者の感想には、買い物の大変さを解消すること以外に、共通しているよさがあります。そのよさを、20字以内で書きなさい。

まずと 解いてみよう!

解説・解答を見ないで、まず自分で分析してみよう!

解説

問題1 いくつかの資料をもとに、そこからわかる特徴や現象を説明させる問題がしばしば出題されます。この問題のように、説明を導く文が出ている場合には、そのあてはめる言葉の前後をよく読み、全体として意味の通る文になるような言葉を見つけていきます。

なお、このような穴あけの問題形式ではなく、「3つの資料を見ながら、そこからわかることを説明しなさい。」という形式も多くあります。例えば、資料1で2017年に向かって商店街数が減少しており、その原因は、資料2の2000年から、商店街をつくっている小売店が減少しはじめ、それにかわって専門スーパーが大幅に増加したことにあり、さらに、そこでの課題を資料3から見つけるという分析の流れです。このように、いくつかの資料を関連させながら、ある現象を説明するという問題も練習しておくといいですね。

問題2 ①は、3つの項目の中から関連するものを見つけ出し組み合わせる問題ですので、各項目の中で共通するといえる言葉を見つけていくことがポイントとなります。まず、aの視点に共通する事例をア～エで見つけ、次に、それに対する感想と考えられるものをあ～えで見つけます。②では、すべてに共通しているよい点は、話す、気づかい、おしゃべりという点に着目し、それを一段高いところでまとめていくこととなります。

解答例

問題1 ア 大きばスーパー イ 専門スーパー
ウ 大型店へ行く客のぞう加 エ ちゅう車場 オ 16.6
カ 小売店 キ 1

問題2 ① a イ あ b ウ え c エ う
d ア い ② (例) 人とのつながりを感じられること

毎週土曜に掲載します。